



発電機の排ガスで一酸化炭素中毒 西日本防災システム

2015 09 29

石垣市でこんな事故があったようです。台風15号が接近した25日に、停電のため自家発電機を使用した2世帯7人が**一酸化炭素中毒**となり、病院で治療を受けたそうです。全員高濃度酸素治療などで回復し、命に別条はなかったようです。

当日、15号の猛烈な風雨の影響で、この地方では特に長時間停電したエリアが広く、信号機が消えるなどの影響が多く出ました。当時はこの二世帯とも居住する建物とは別の倉庫で発電機を運転していて、排気ガスが室内に流れ込んだようです。別の世帯では同日正午ごろから家族6人が次々に体調不良を訴え、治療を受けたようです。

一般的に一酸化炭素中毒は、排気ガスや火災などで発生した一酸化炭素が血液中の酸素運搬を阻み、頭痛や意識障害をもたらし、継続的な中毒は死に至る場合もあります。

一般のご家庭で停電時に発電機を使用される事例は少ないと思いますが、万が一使用される場合は、**閉鎖空間**での使用には嚴重な注意をお願いいたします。



NBS

西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ 